

看取りを希望されるご家族様へ



医療法人 芙蓉会
いちのみやケアセンター

目 次

- | | | |
|---|----------------------|-----|
| 1 | 人生最期のときを自分らしく生きるために | P 1 |
| 2 | 看取りとは | P 1 |
| 3 | ご家族様へ | P 2 |
| 4 | どんな症状になると看取りの診断になるのか | P 4 |
| 5 | おわりに | P 5 |

1 人生最期のときを自分らしく生きるために

ご縁があって当施設をご利用いただき、「人生最期のとき」を当施設でと望まれる方に、安心して施設でのお看取りができますよう、旅立たれるときの症状の変化や、施設での看取り介護の現状を綴ったのがこのパンフレットです。

人生最期の時をいかに迎えられるのか…

厚生労働省による意識調査でも、治る見込みがなく死期が迫っていると告げられた場合の延命治療を「望まない」とする人の割合は年々増えています。

「できれば死ぬときは住み慣れた自宅で……」と望む人が多いと思いますが高齢者が自宅で亡くなるには、自宅で介護する人が必要です。核家族化が進む日本では介護を家族だけの力に頼るのはなかなか難しいのが現状でしょう。そういったなかで、介護施設における看取りもひとつの選択肢になってくるのではないのでしょうか。

2 看取りとは

看取りとは、近い将来、死が避けられず、治療をしても回復の見込みがないと医師により診断された人に対し、身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するとともに、人生の最期まで尊厳ある生活を支援することです。

このように看取りは、身体的・精神的苦痛を緩和し、軽減することが目的となっています。決して、「看取り」とは、高齢者医療を切り捨てることでも安楽死を肯定することでもありません。

死とは「苦しいもの」「痛いもの」「怖いもの」ではなく、痛みや苦しみのない生活の延長線上にあるとすれば、いつか誰にでも必ず訪れる「死」に対する恐れも軽くなるのではないのでしょうか。



3 ご家族様へ

当施設での看取りを希望された際にも、ご家族様が看取りについてご理解を深め、ご協力いただくことによって、利用者様がよりやすらかな最後を迎えることができることとなります。看取りとはどういうものなのか、また、旅立ちの時までの間、どういうお体の変化が起こるのかなどをあらかじめ知り、理解していただくことが大切になってきます。(施設からの現状報告は必ずさせていただきます)。その変化は全ての方に見られるわけでも、また、必ずしも順序通りに起こるわけでもありません。大切なのはこれから説明する変化が旅立ちに至るまでの自然な経過であるという事です。

旅立ちが近づいてきますと次のような状態になることが多くなります。

◆眼を閉じ、横になっている時間が多くなります。

→ 体力が低下し、起きていることが出来なくなります。

◆食欲が低下し、飲食する量が減り、時には全く食べられなくなります。

→ ご本人が食べたいと希望されるものを召し上がっていただきます。

(無理に食べさせる事はいたしません)

◆穏やかでなくなり、意味不明な言動や大声をあげることがあります。

→ そばに付き添い、穏やかに優しく語りかけたり、見守ります。

◆便や尿の失禁が見られます。

→ 手足の筋力が落ちるように、便や尿を排泄する筋力も低下するために失禁が起こります。状況に応じて、排泄介助に入らせていただきます。

◆唇や皮膚が乾燥します。唾液や痰が溜まり呼吸の際にゴロゴロという音が聞かれます。また尿量が減少し、時には全く出ないこともあります。

→ 水分量が少ない為、脱水の状態です。痰が絡んで苦しそうな時は吸引をします。口内が乾燥したら、濡らしたガーゼや綿棒等で口内を湿らせたり、ゼリー等で水分補給に努めます。

◆手足が冷たくなり、白～紫色になってきます。そして身体の下になっている皮膚は暗紫色になることもあります。

→ 血液の流れが悪くなってきています。定期的な体位交換の他、手足の冷たさが気になるときは、毛布等で調整させていただきます。

◆呼吸は変化しやすく、不規則になります。

→ 呼吸がしばらく止まったり、あごを持ち上げるような呼吸はお別れが近づいているサインです。最後にお会いしておきたい方がいましたらご家族の方で連絡を取ってください。

◆呼びかけに反応がなくなります。

→ 耳の機能は最後まで保たれると言われています。ご家族の声掛けはご本人に聞こえています。思い出や感謝の言葉をかけてください。

◆お看取り後に着る服のご準備をお願いします。

→ 施設医が死亡診断書を発行します。当施設職員がエンゼルケア（お体をきれいにしたり、容姿を整えたりします）をさせていただきます、ご本人もしくはご家族様が着せたいと思う洋服（着物）に着替えさせていただきます。



4 どんな症状になると看取りの診断になるのか

認知症

認知症の症状が進み、食べることや飲むことが難しくなった時

慢性疾患

脳梗塞、脳出血、腎不全、心不全等の疾患が悪くなった時

急病

何らかの原因で急に状態が悪くなり、食べることや飲むことができなくなった時

老衰

年齢的に身体機能が低下して、食べることや飲むことができなくなった時



5 おわりに

私たちは、基本理念のひとつに「自分も利用したくなる施設」を掲げています。その理念に沿って「自分ならこうしてほしい」「自分の家族ならこうしてほしい」という思いをもって、皆様をサポートさせていただきます。人生の最後の時間を当施設でお過ごしになられる利用者様やご家族様のご意向を全てかなえることは難しいかもしれませんが、精いっぱいサポートさせていただきます。

<基本理念>

夢を語り合える介護施設

1. 自分も利用したくなる施設
2. 安心とやりがいを持てる施設
3. 互いに人間性を高められる施設

看取りに関する事で分からない事や、不安な事はいつでも当施設の医師・看護師・相談員・ケアマネージャーにご連絡ください。



医療法人 芙蓉会 いちのみやケアセンター

